

全国循環器撮影研究会会長 安永国広
大会実行委員長 菊地達也

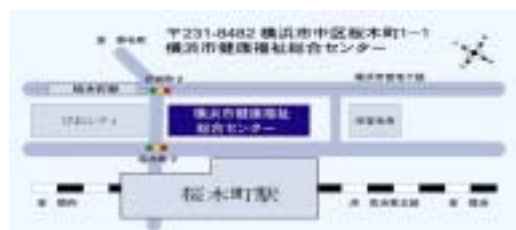
第20回全国循環器撮影研究会 20周年記念講演会のお知らせ

第20回全国循環器撮影研究会記念講演会を東京大学の小柴昌俊先生を招聘し、下記の日程で開催致します。
多数のご参加をお願い致します。



講演 「やれば、できる。」
講師 小柴昌俊（こしばまさとし）先生
ノーベル物理学賞受賞
東京大学特別名誉教授
東京大学素粒子物理国際研究センター参与
財団法人平成基礎科学財団 理事長

日 時： 平成 18 年 4 月 7 日（金）
15：45～17：00 開場（15：30）
会 場： 横浜市健康福祉センター
4 階ホール
会場整理費： 1000 円



（JR桜木町駅下車・市営地下鉄桜木町駅下車3分）

御 略 歴

1926年 9月19日 愛知県生まれ 78歳
1951年 3月 東京大学理学部物理学科卒業
1955年 6月 ロチェスター大学大学院修了（Doctor philosophy）

1958年 5月 東京大学助教授（原子核研究所）
 1963年 11月 東京大学助教授（理学部）
 1967年 6月 東京大学理学博士取得
 1970年 3月 東京大学教授（理学部）
 1974年 6月 東京大学理学部附属高エネルギー物理学実験施設長
 1977年 4月 東京大学理学部附属素粒子物理国際協力施設長
 1984年 4月 東京大学理学部附属素粒子物理国際センター長
 1987年 3月31日 停年退官
 1987年 5月 東京大学名誉教授
 1987年 8月～1997年3月 東海大学理学部教授
 1994年 6月 東京大学素粒子物理国際研究センター参与
 2002年 12月 日本学士会会員
 2003年 10月 財団法人平成基礎科学財団設立 理事長就任
 2005年 1月 東京大学特別荣誉教授
 現在に至る

【受賞】ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字章(1985)、仁科記念賞(1987)、朝日賞(1988)、文化功労者(1988)、日本学士院賞(1989)、藤原賞(1997)、文化勲章(1997)、Wolf賞(2000)、ノーベル物理学賞(2002)、ベンジャミンフランクリンメダル(2003)、勲一等旭日大綬章(2003)など

【著書】

- ・ ようこそニュートリノ天体物理学へ 海鳴社 2002.11.11
- ・ ニュートリノ天体物理学入門 講談社ブルーバックス 2002.11.20
- ・ 心に夢のタマゴを持とう 講談社文庫 2002.11.25
- ・ 物理屋になりたかったんだよ 朝日新聞社朝日選書 2002.12.25
- ・ やれば、できる。 新潮社 2003.1.30

専 門

素粒子物理学、宇宙線物理学

研究業績

宇宙線分野

宇宙線の超新星起源を初めて指摘

宇宙線による素粒子相互作用の解明を進めたこと

ミュー中間子束に関する初めての組織的研究

素粒子物理学分野

新粒子 Pc の発見、グレーオンの発見など 統一ゲージ理論の精密な検証

大型水チェレンコフ検出器による地下実験 Kamiokande を提案（昭和 53 年）

岐阜県神岡鉱山において同実験を開始（昭和 58 年）

Kamiokande 装置により、16 万光年のかなたにある超新星 SN1987A からのニュートリノを捉え、世界で初めて超新星爆発からのニュートリノの観測に成功、太陽ニュートリノの観測によりニュートリノ天文学という新しい学問を切り開く Super-Kamiokande 実験（Kamiokande の次期計画）においてニュートリノに質量があることを世界で初めて発見

懇親会「全循研の夕べ」へのお誘い

日 時：平成 18 年 4 月 7 日（金）18:00～20:00 開場（17:30）

会 場： 横浜桜木町ワシントンホテル

レストラン/ベイサイド

〒231-0062 神奈川県横浜市中区

桜木町 1 丁目 1-67 （TEL045-683-3111）

参 加 費： 会員 6000 円、工業会 8000 円



お問い合わせ

全国循環器撮影研究会事務局 田辺智晴

✉ tanabe@mch.pref.osaka.jp

第 20 回総会実行委員長 菊地達也

✉ hamakiku@urahp.yokohama-cu.ac.jp

第 20 回学術大会・総会のお知らせ

大会テーマ：被ばく低減に向けた線量管理の実践

日 時： 平成 18 年 4 月 8 日（土）

17：30～21：00

会 場： 横浜市開港記念会館

〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町 1 - 6

TEL 045-201-0708

（JR 京浜東北線・根岸線 関内駅南口から徒歩 10 分）

（横浜市営地下鉄 関内駅出口 1 から徒歩 10 分）

（東急東横線乗り入れ みなとみらい線 日本大通り駅出口 1 から徒歩 1 分）

参 加 費： 会員 1000 円 非会員 2000 円



プログラム

1. 総 会(17:30～17:55)

2. 課題研究発表(18:00～19:00)

座長：(財)秋田県成人病医療センター 土佐 鉄雄

【課題研究】「冠動脈インターベンション時の透視時間に影響を及ぼす因子の調査」

主任研究員：千葉県循環器病センター 景山 貴洋

座長：山梨医科大学医学部附属病院 坂本 肇

【課題研究】「電気生理学的検査における臨床時の被ばくの実態」

主任研究員：新潟大学医歯学総合病院 岡 哲也

3. C C T 優秀演題講演(19:00～19:15)

「I V R に伴う放射線皮膚障害の防止に関するガイドライン」に沿った循環器 X 線撮影装置の線量実態測定班

班長：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 西田 直也

4. ワークショップ(19:15～21:15)

『循環器 X 線撮影装置・被ばく低減システムにおける被ばく低減効果』

座長：奈良県立医科大学附属病院 才田 寿一

メーカーの立場から

東芝メディカルシステムズ株式会社 佐藤 直高

株式会社日立メディコ 池田 重之

株式会社島津製作所 柴田 幸一

ユーザーの立場から

順天堂大学医学部附属病院 堂領 和彦(東芝ユーザー)

大阪市立大学医学部附属病院 市田 隆雄(日立ユーザー)

小倉記念病院 松崎 静信(島津ユーザー)